



新発田市立
加治川中学校
3学年便り
第57号
文責 石井
11月15日発行

模擬裁判で大活躍！

答えがひとつでないことの方が多い

3学年主任 石井 仁

11月10日(水)3限・4限、検察庁新発田支部の方から、模擬裁判の授業を行っていただきました。裁判官(3人)・検察官(3人)・弁護人(3人)・被告人(1人)の配役が、すべて立候補できまり、難しい台本を、その役割にふさわしい雰囲気の中で語ることができました。夏の「映画祭」に向けた取組も生きたのでしょね！学年のみんなが、支持的な雰囲気での模擬裁判に注目しました。

しかも、事件の内容は、有罪だとも考えられるし、いやこれでは無罪だとも考えられる事案でした。学校では、1つの答えを求めて、正確に、速くなど要求されることが多いですが、世の中のできごとは、常に、答えが一つとは限らないことが多いと感じました。3年生の反応も、「有罪だと思う」と「無罪だと思う」と分かれて、これも一つにならないと思いました。だからこそ、検察官・弁護人・裁判官の判断と、被告人の証言や、確固とした証拠が重要になることが分かりました。

今、みんなは入試に向けて毎日勉強に努力しています。その勉強内容の答えは1つかもしれませんが、自分の進路や将来の人生の答えは、1つとは限りません。常に、判断したり、迷ったりします。でも、大丈夫！、迷った分、悩んだ分、きっといいことがある！！たとえランプが来ても、天気が晴れるように、いいときも必ずやってきます！そんなことを考えた模擬裁判でした！

検察庁新発田支部
吉田検察広報官 様

検察庁や裁判の仕組みを丁寧に説明されました！

検察庁新発田支部
木村統括検務官 様

裁判の様子や裁判官、検察官、弁護人の資料の提示方法や話し方をくわしく説明されました！



検察の役割

社会正義の実現

犯罪を捜査します

刑事事件について裁判所に起訴
するかどうかを決めます

起訴した事件を裁判で立証し適
正な裁判を求めます

裁判の執行を指揮監督します

公益の代表者として法令に定め
られた事務を行います

被害者の保護・支援を行います



検察側の主張！



生徒の感想！

今回の模擬裁判で、私は見ている側でした。みんなの役がとてもうまくて、すごいと思いました。また、検察官という仕事は大変なことが分かりました。それにいろいろな種類の仕事があることが分かりました。裁判においても有罪か無罪かを見極めることはとても難しいことが分かりました。こんな経験はできないと思うので、体験できてよかったです。 (1組女子より)

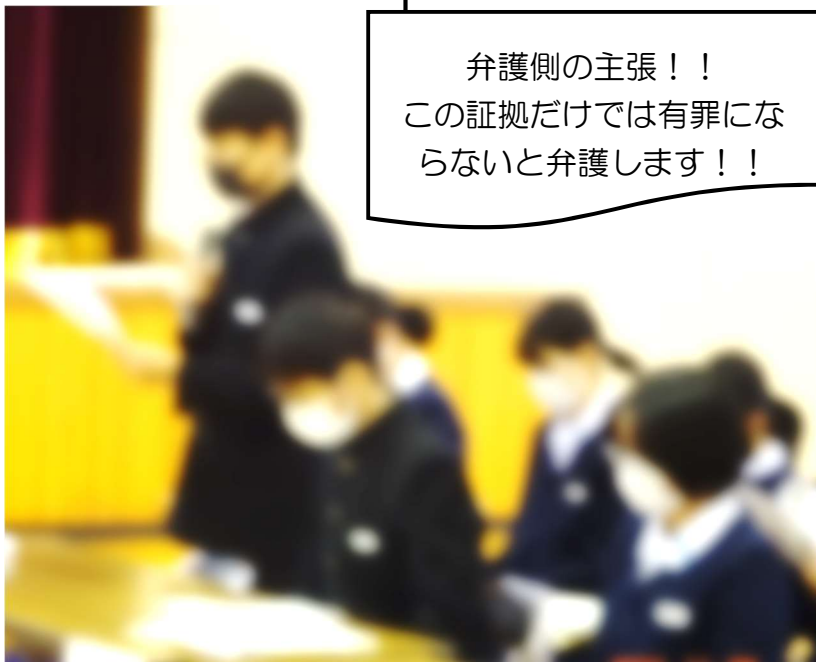
被告人と裁判官
のやりとり！



事実を把握する
裁判官！



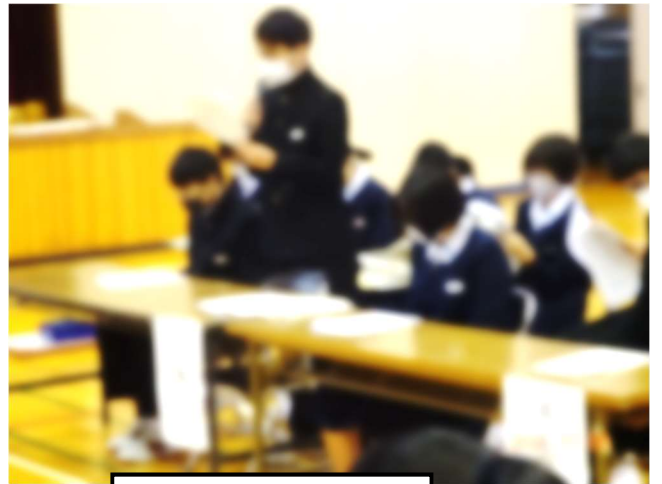
弁護側の主張！！
この証拠だけでは有罪にな
らないと弁護します！！



裁判の進め方すら知らないくらい無知だったので、今日「模擬裁判」を見れてよかったです。役の人たちがすごくなりきって見て楽しい？ワクワクしました。内容もなかなか判断が難しいものなので、有罪か無罪か悩みました。決定的な証拠がなく、殴ったのは地面っていてもどこかとか、細かいところが分からなかったため、無罪かなと思いました。模擬裁判と言っても、裁判を見れるなんてそうそうないので、いい体験ができました。

(2組男子より)

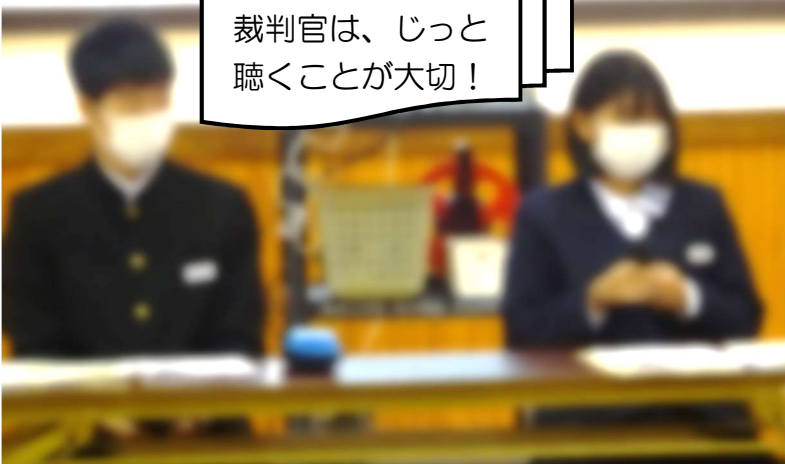
有罪か無罪か考
える傍聴席



私は、裁判が関わるゲームが好きで、今回の模擬裁判もとても楽しみにしていました。でも、改めて考えると、検察ってどんなことをしてるんだ？と疑問があり、今回の検察の仕事を詳しく知ることができてよかったし、やりがいについても知ることができて良かったです。裁判も模擬でしたが、実際にやっているのを見ると、すごく難しいなあと思いました。また、検察は自分の正義をつらぬく弁護士ではなく、真実を解き明かそうというところがまたかっこいいなあと思いました。 (1組女子より)

弁護人の主張！

裁判官は、じっと
聴くことが大切！



今日の授業では、検察庁の方に裁判を教えてもらいました。検察庁には、部門が分かれて、それぞれが裁判の準備・実行していることが分かりました。また、事件の被害者のアフターフォローを行う人がいると初めて知りました。「模擬裁判」では、判決を下すのに、相当悩みました。被告人だけではなく、周りの状況も考えて無罪だと思いました。

(2組女子より)



有罪か？無罪か？



まず、今日1番分かったことは、裁判1つするのに、こんなにたくさんの方が関わっているというところです。そして、実際に模擬裁判に参加してみて、とても新鮮でした。私たちは実際に裁判しているところを見れる機会はあまりないし、様子をテレビで伝えることがあっても、日本ではスケッチした絵が使われるもので、今まで見たことがない景色でした。今回は傍聴席として参加して、万代さん（被告人）が、有罪か無罪か、客観的に考える時間もとても楽しかったです。

（2組女子より）

模擬裁判をしてみて、判決を下すのは、とても難しいことが分かりました。被告人の演技がとても上手く、本物に肉薄していました。検察の仕事も幅広く、検察庁も新潟に結構あって驚きました。裁判官は、判決を言い渡したりするのが主な仕事なので、あまり裁判では話さないんだなと思いました。

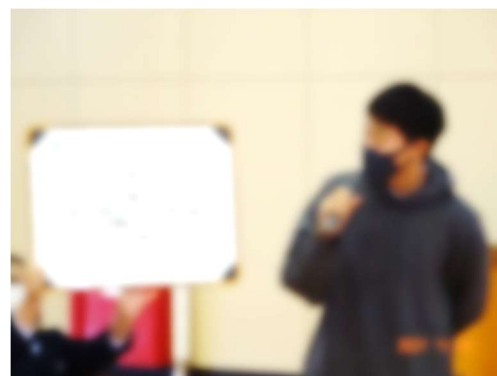
（1組男子より）

裁判官の立場から見て、被疑者は有罪に思えたけど、もうちょい時間と現場の感じを調べてみないと本当にどちらか分からないなあと思いました。模擬裁判をやってみて、裁判の流れをつかむことができて楽しかったです。

（2組男子より）

有罪か無罪か、
討議する場面

検察官は、おもに被告人の代わりに証拠を集めて、被疑者を起訴するのが仕事だとわかりました。今回は模擬でしたが、十分緊張感がありました。弁護士や検察官の人は、自分であそこまで証拠を集めているなんてすごいと思いました。裁判官は判断が難しいなと思いました。（1組男子より）



人それぞれとらえ方や考え方が異なっていて、聞いていて考え深かったです。判決をだすことは難しく、裁判が大切なことだということを実感しました。今まで、裁判についての報道をきいても興味を感じることがなかったのですが、これからは、もっと裁判の仕方や内容に興味をもってききたいです。今まで、教科書を読んでもよくはわからなかったことが実際にやってみることでよく分かりました。

（1組女子より）



今日の模擬裁判を通して、僕は裁判官の人たちがどれだけ大変なのか、実感することができました。自分たちが被告人の判決を決める際、それが確かな証拠なのか、や、被告人の言動によって判断しようとしたのですが、なかなか決まらず、自分たちがもし事実と異なる判決を下してしまうことで、被告人の人生が大きく変わってしまうと思うと、とても難しかったです。めったにない機会だったので、こういう体験ができてよかったです。

（2組男子より）